

## 第12回 RDSセミナー '09

山田 義雄氏  
早稲田大学交差拡散を伴う Lotka-Volterra 型  
競合モデルについて

日時： 2009年11月16日 (月) 16:30~17:30

場所： 明治大学生田キャンパス・第2校舎A館・A208室

[http://www.meiji.ac.jp/koho/campus\\_guide/](http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/)<http://nnrds.math.meiji.ac.jp/activities/seminar/RDS/index.html>

概要：数理生態学に現れる、拡散項を考慮に入れた人口モデルの中には拡散係数自身が個体数密度に依存するタイプのものがある。代表的なものが、1979年にShigesada-Kawasaki-Teramotoにより提起されたモデルである。これはLotka-Volterra型の反応項と交差拡散(cross-diffusion)と呼ばれる非線形拡散項からなる反応拡散方程式系によって定式化される。この方程式について、非定常問題に対する時間大域解の存在、定常問題から生れる極限問題の解析の二つのトピックを中心に講演する。

**参加自由です。皆様のお越しをお待ちしております。**明治大学先端数理科学インスティテュート <http://www.mims.meiji.ac.jp/>

組織委員：二宮 広和(明治大学), 廣瀬 宗光(明治大学), 若狭 徹(早稲田大学)

谷口 雅治(東京工業大学), 中村 健一(電気通信大学)

連絡先: [ninomiya@math.meiji.ac.jp](mailto:ninomiya@math.meiji.ac.jp)後援：科学研究費補助金基盤研究(S)「非線形非平衡反応拡散系理論の確立」(代表:三村 昌泰) <http://nnrds.math.meiji.ac.jp/>明治大学グローバルCOEプログラム「現象数学の形成と発展」 <http://gcoe.mims.meiji.ac.jp/>